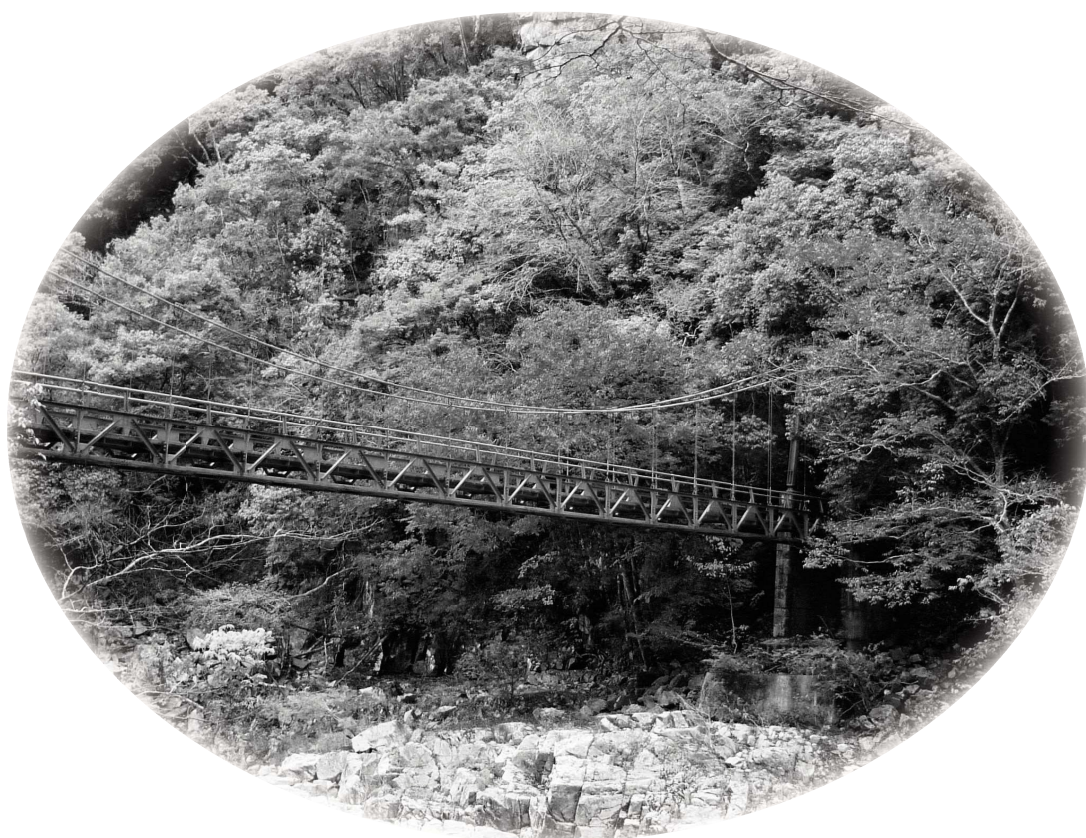


令和 **5** 年度

# 萩市当初予算の概要



## 萩ジオパーク認定5周年



## 長門峡 名勝指定 100 年



令和5年3月  
萩市総務部財政課

# 目 次

## I 予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 1

### 1 予算の規模

- (1) 予算規模一覧
- (2) 一般会計予算規模の推移
- (3) 特別会計予算規模の推移
- (4) 企業会計（支出額ベース）予算規模の推移

### 2 予算の特色

- (1) 一般会計・歳入の状況
- (2) 一般会計・歳出の状況
- (3) 特別会計の状況
- (4) 企業会計の状況

## II 萩市の財政事情・・・・・・・・・・・・・・・・P 7

### 1 歳入・歳出総額、市税、地方交付税、市債の推移（普通会計）

### 2 市債発行額と公債元金との差、市債残高の推移（普通会計）

### 3 基金及び市債残高の状況

- (1) 健全な財政運営
- (2) 基金の状況（一般会計・特別会計）
- (3) 市債残高の状況（一般会計・特別会計・企業会計）

### 4 主な財政関係指標

## III 各部局別予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・P 13

# I 予算の概要

令和5年度一般会計当初予算（案）の総額は、

前年度から **0.1%増の299億円**を計上しました。

令和5年度の当初予算は、「明るく元気な萩市」の実現に向け、「萩市基本ビジョン」のもと、「5つの良し」のまちづくりを推進するとともに、重要課題に積極的に取り組む予算としています。

人口減少の最大の要因である少子化対策として、中学校に引き続き、小学校に通う児童の学校給食費の助成や安心して子どもを産み育てることができるよう、多子世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、中山間地域への定住促進などの多様な移住施策により、若者等の移住・定住を促進させる課題に取り組みます。

産業振興においては、道の駅「萩・さんさん三見」のリニューアルや萩焼の魅力発信、農地における草刈り作業の省力化を図るなど、新たな施策に積極的に取り組みます。

また、各総合事務所を主体に、地域事業懇話会と一体となり作成した「地域事業計画」のもと、地域の活力を向上させるため、花を活用した交流人口の拡大や各施設の機能強化を図るなど、明るく元気な萩市を創出します。

## 一般会計当初予算の特色

1. 多子世帯への誕生祝金の支給や中学校に引き続き、小学校まで給食費助成の対象を拡充させるなど、子育ての幸せが実感できるまちづくりに取り組む予算
2. 道の駅「萩・さんさん三見」のリニューアルや農地における草刈り作業の省力化を図るなど、産業活力があふれるまちづくりに取り組む予算
3. 中山間地域への定住促進や地域で花を活用した交流促進など、だれからも愛されるまち、求められるまちづくりに取り組む予算

## 1 予算の規模

### (1) 予算規模一覧

区分	令和5年度（案）	令和4年度	増減額	増減率（%）
一般会計	299億円	298億8,000万円	2,000万円	0.1
特別会計	148億4,110万円	146億2,380万円	2億1,730万円	1.5
企業会計 （支出額ベース）	109億3,996万9千円	92億7,866万8千円	16億6,130万1千円	17.9
合計	556億8,106万9千円	537億8,246万8千円	18億9,860万1千円	3.5

(2) 一般会計予算規模の推移

年 度	当初予算額	増 減 額	増減率 (%)
令和5年度(案)	299億円	2,000万円	0.1
令和4年度	298億8,000万円	— (△4億5,246万3千円)	— (△1.5)
令和3年度	298億8,000万円 (303億3,246万3千円)	5億円 (9億5,246万3千円)	1.7 (3.2)
令和2年度	293億8,000万円	1億1,000万円	0.4

(3) 特別会計予算規模の推移

年 度	当初予算額	増 減 額	増減率 (%)
令和5年度(案)	148億4,110万円	2億1,730万円	1.5
令和4年度	146億2,380万円	△3億1,410万円 (△3億1,934万3千円)	△2.1 (△2.1)
令和3年度	149億3,790万円 (149億4,314万3千円)	△5億1,630万円 (△5億1,105万7千円)	△3.3 (△3.3)
令和2年度	154億5,420万円	△3,430万円	△0.2

(4) 企業会計(支出額ベース)予算規模の推移

年 度	当初予算額	増 減 額	増減率 (%)
令和5年度(案)	109億3,996万9千円	16億6,130万1千円	17.9
令和4年度	92億7,866万8千円	△1億2,224万8千円	△1.3
令和3年度	94億91万6千円	3億2,481万3千円	3.6
令和2年度	90億7,610万3千円	349万7千円	0.0

※令和3年度欄の( )内は、市長選挙後の政策的経費等を追加した6月補正後予算

## 2 予算の特色

### (1) 一般会計・歳入の状況

区 分	令和5年度(案)		令和4年度		比 較	
	当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)	増 減 額	増減率 (%)
市税	50億 8,604万 2千円	17.0	50億 7,562万円	17.0	1,042万 2千円	0.2
地方譲与税	2億 7,730万円	0.9	3億 4,470万円	1.2	△6,740万円	△19.6
地方消費税交付金	9億 6,000万円	3.2	10億円	3.3	△4,000万円	△4.0
地方交付税	118億 5,000万円	39.6	118億 5,000万円	39.7	—	—
分担金及び負担金	3億 5,826万 3千円	1.2	2億 8,767万円	1.0	7,059万 3千円	24.5
国・県支出金	50億 7,290万 1千円	16.9	53億 8,226万 3千円	18.0	△3億 936万 2千円	△5.7
繰入金	22億 1,236万 1千円	7.4	21億 5,076万 5千円	7.2	6,159万 6千円	2.9
うち財調基金	13億 9,107万 4千円	4.7	13億 8,472万 9千円	4.6	634万 5千円	0.5
その他	8億 2,128万 7千円	2.7	7億 6,603万 6千円	2.6	5,525万 1千円	7.2
市債	23億 7,760万円	8.0	20億 9,340万円	7.0	2億 8,420万円	13.6
その他	17億 553万 3千円	5.8	16億 9,558万 2千円	5.6	995万 1千円	0.6
合 計	299億円	100.0	298億 8,000万円	100.0	2,000万円	0.1

#### ◎主な増減要因

##### 【市税】

全国的に企業の業績が回復傾向にあることに伴い、市民税法人税割の増収が見込まれるほか、宿泊者数も増加傾向にあり入湯税の増収も見込まれるため、増額計上しています。

##### 【分担金及び負担金】

消防指令センター共同整備事業の本格化に伴い、阿武町からの負担金を増額計上しています。

##### 【地方交付税】

普通交付税については、令和5年度地方財政対策において、地方交付税総額を増額することが示された一方で、人口減少の影響による減額が見込まれることから、前年度と同額の104億円を計上しています。

##### 【繰入金】

財源不足に対応するため、財政調整基金から13億9,107万4千円を繰り入れることとしています。また、小学校の学校給食費助成事業に学校給食基金より6,187万5千円を繰り入れることとしています。

##### 【市債】

臨時財政対策債は、令和5年度地方財政対策において、減少の見込みが示されたため減額していますが、消防指令センター共同整備事業が本格化するほか、道の駅「萩・さんさん三見」のリニューアルを行うことなどから、増額計上しています。

## (2) 一般会計・歳出の状況

区 分	令和5年度(案)		令和4年度		比 較	
	当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
人件費	56億4,501万3千円	18.9	59億4,030万1千円	19.9	△2億9,528万8千円	△5.0
扶助費	43億1,310万円	14.4	43億7,693万3千円	14.7	△6,383万3千円	△1.5
公債費	31億9,470万9千円	10.7	32億3,032万2千円	10.8	△3,561万3千円	△1.1
投資的経費	31億6,404万9千円	10.6	31億4,591万7千円	10.5	1,813万2千円	0.6
うち普通建設事業	31億568万5千円	10.4	31億2,853万5千円	10.5	△2,285万円	△0.7
うち災害復旧事業	5,836万4千円	0.2	1,738万2千円	0.0	4,098万2千円	235.8
物件費	41億4,205万5千円	13.8	40億3,017万8千円	13.5	1億1,187万7千円	2.8
補助費等	45億2,416万1千円	15.1	43億2,238万9千円	14.5	2億177万2千円	4.7
繰出金	31億8,626万1千円	10.6	31億7,827万8千円	10.6	798万3千円	0.3
その他	17億3,065万2千円	5.9	16億5,568万2千円	5.5	7,497万円	4.5
合 計	299億円	100.0	298億8,000万円	100.0	2,000万円	0.1

### ◎主な増減要因

#### 【人件費】

期末・勤勉手当、会計年度任用職員の給料等は増額するものの、定年年齢の段階的引き上げに伴う退職手当の減額により減額となっています。

#### 【扶助費】

生活保護者扶助事業費が増加した一方で、児童手当支給事業費や子どものための教育・保育給付費の減少などにより減額となっています。

#### 【物件費】

原油価格・物価高騰等の影響により光熱費が大きく増加しているほか、行政用ネットワークのセキュリティ強靱化事業や萩往還夏木原交流施設の解体を実施することから増額となっています。

#### 【補助費等】

子育て世帯応援学校給食費助成事業を小学校へ拡充することや、離島航路補助金、漁業集落排水事業負担金の増加などにより増額となっています。

#### 【その他】

中小企業者等経営安定化緊急対策事業による貸付金の減額が見込まれる一方、職員退職手当基金積立金が増額となっています。

### (3) 特別会計の状況

区 分	令和5年度(案)	令和4年度	増減額	増減率 (%)
土地取得事業	60万円	80万円	△20万円	△25.0
国民健康保険事業(事業勘定)	68億3,970万円	66億9,650万円	1億4,320万円	2.1
国民健康保険事業(直診勘定)	6億5,150万円	7億530万円	△5,380万円	△7.6
休日急患診療事業	1億50万円	1億480万円	△430万円	△4.1
後期高齢者医療事業	10億750万円	9億9,200万円	1,550万円	1.6
介護保険事業	62億4,130万円	61億2,440万円	1億1,690万円	1.9
合 計	148億4,110万円	146億2,380万円	2億1,730万円	1.5

#### ◎主な増減要因

##### 【国民健康保険事業(事業勘定)】

被保険者数は減少していますが、一人当たり医療費は増加していることから、保険給付費が増額となっています。

##### 【国民健康保険事業(直診勘定)】

大島診療所医師・看護師住宅の整備が完了したことから、予算規模は減額となっています。

##### 【後期高齢者医療事業】

高齢化の進行により、県全体の保険給付費は大きく増加しています。また、被保険者数の増加に伴い、広域連合への保険料負担金が増額となっています。

##### 【介護保険事業】

被保険者数は減少していますが、要介護(要支援)認定者数の増加により、介護給付費が増額となっています。

#### (4) 企業会計の状況

区 分		令和5年度(案)	令和4年度	増減額	増減率 (%)
水道事業	収益的収入	11億700万円	10億9,900万円	800万円	0.7
	収益的支出	11億3,900万円	10億9,900万円	4,000万円	3.6
	資本的収入	15億2,639万6千円	6億4,024万円	8億8,615万6千円	138.4
	資本的支出	18億8,148万3千円	9億9,971万2千円	8億8,177万1千円	88.2
下水道事業	収益的収入	21億3,200万円	20億9,700万円	3,500万円	1.7
	収益的支出	21億3,200万円	20億9,700万円	3,500万円	1.7
	資本的収入	15億9,800万円	11億1,800万円	4億8,000万円	42.9
	資本的支出	20億8,400万円	16億800万円	4億7,600万円	29.6
病院事業	収益的収入	29億2,480万3千円	28億6,325万4千円	6,154万9千円	2.1
	収益的支出	31億672万4千円	29億3,887万7千円	1億6,784万7千円	5.7
	資本的収入	4億4,460万9千円	4億1,611万7千円	2,849万2千円	6.8
	資本的支出	5億9,676万2千円	5億3,607万9千円	6,068万3千円	11.3

#### ○水道事業

安全・安心な水の安定供給を図るため、水道施設整備計画である「水道事業ビジョン」に基づき、耐用年数を経過した水道管等を更新し漏水の未然防止等を図るとともに、安定した事業運営に向け料金収入の確保と経費の節減に努めます。また、地震や異常気象などの災害等における備えとして、強靱かつ安全で持続可能な水道施設の構築に取り組みます。

#### ○下水道事業

生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るため、水洗化の促進に努めるとともに、生活に欠くことのできないサービスとして安定的な事業運営を図るため、維持管理経費の節減に努めます。また、引き続き未普及地域（椿東、椿及び大井地区）の整備と各処理場等の施設設備の改築・更新を計画的に実施するとともに効率的な維持管理を推進します。

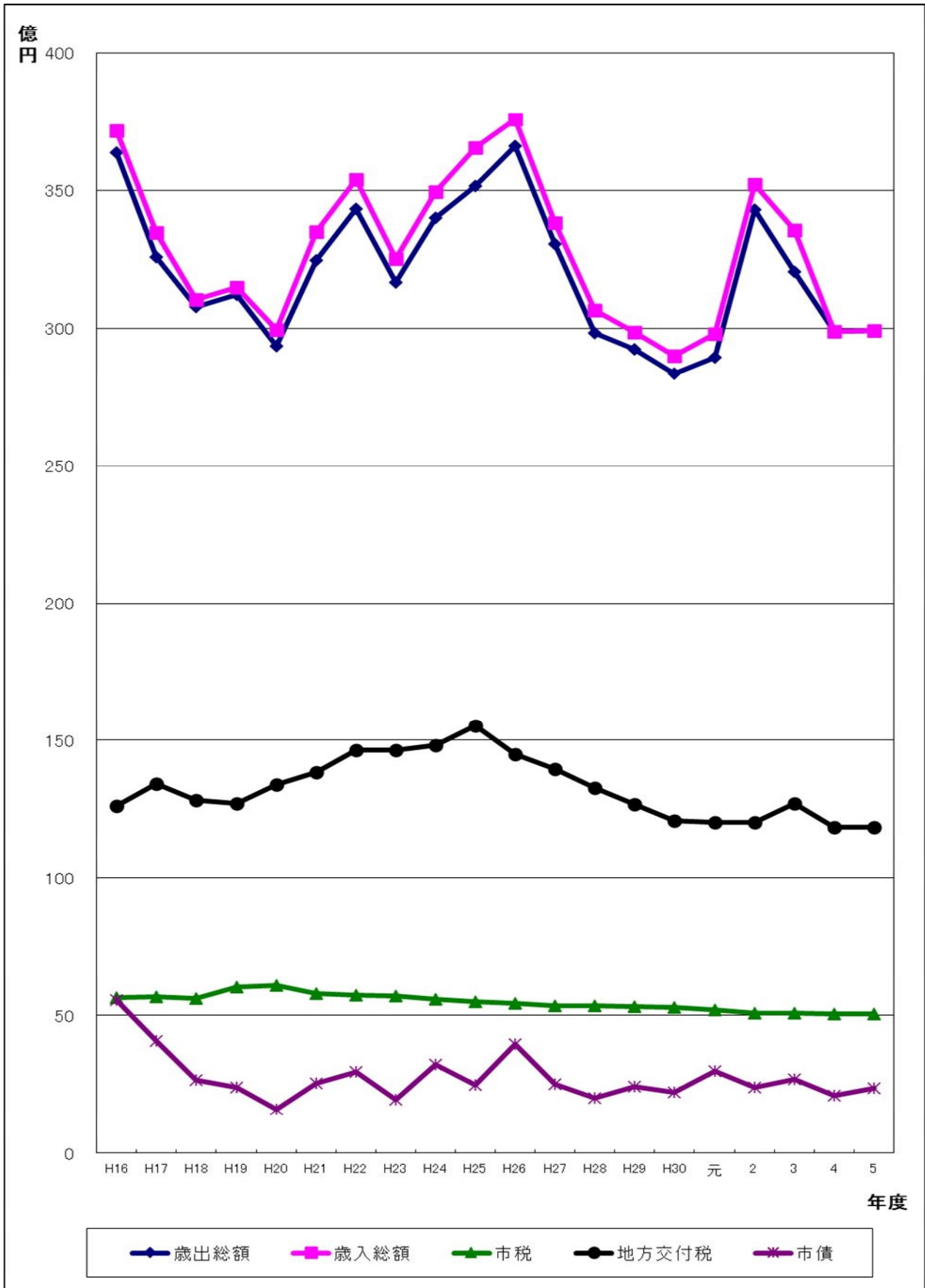
#### ○病院事業

萩医療圏の急性期医療を担うとともに、新型コロナウイルス感染症患者の受入病床の確保等、公立病院としての役割を果たし、地域に必要な医療を維持するため、医療従事者の確保に取り組むとともに、効率的かつ持続可能な医療提供体制の構築を目指します。また、原油価格等の高騰に伴う各種経費の増高等から、非常に厳しい経営状況にありますが、収入確保及び施設・設備の計画的な維持管理、更なる経費削減の検討等、引き続き経営改善の取組を進めます。



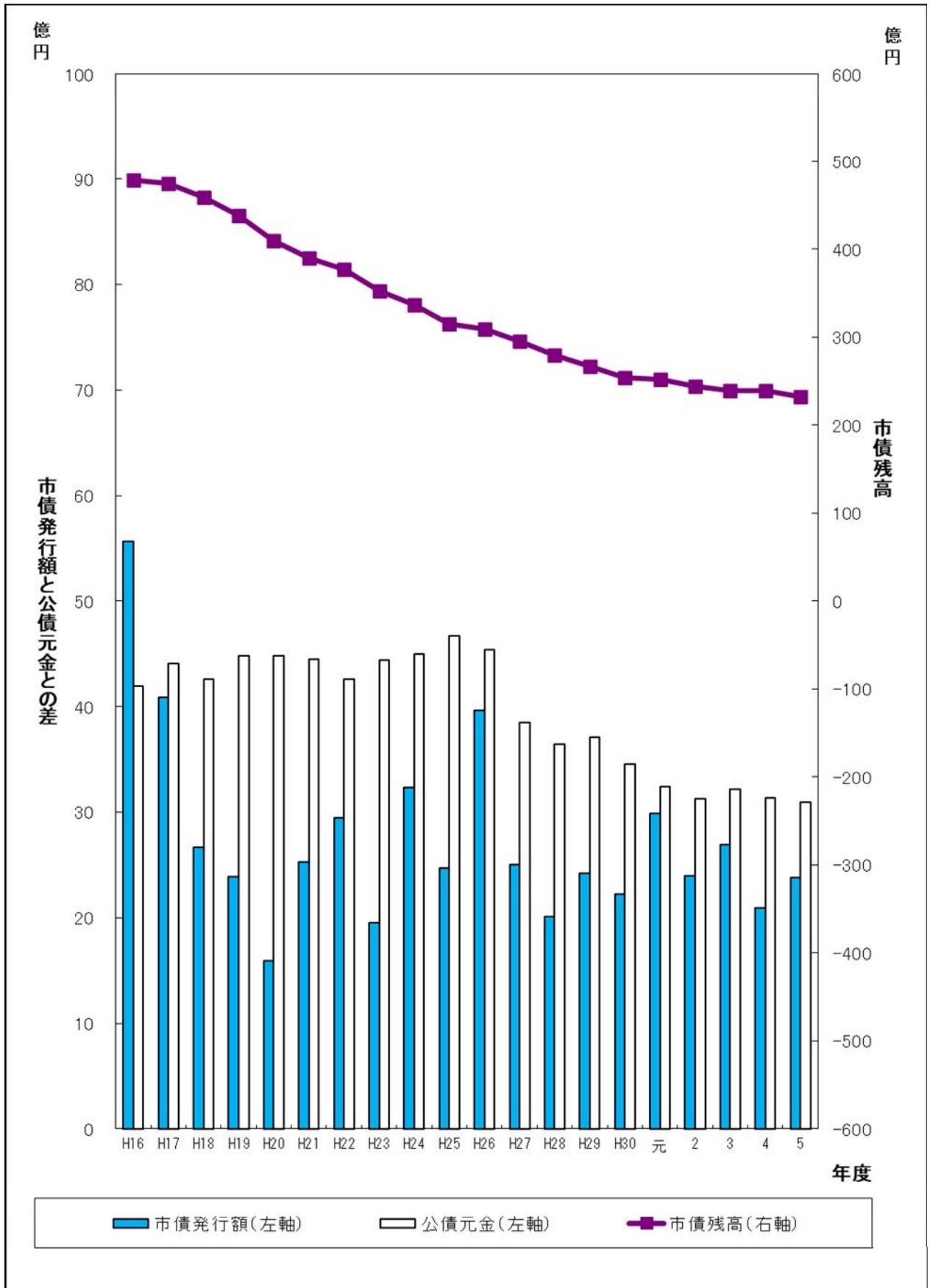
## Ⅱ 萩市の財政事情

### 1 歳入・歳出総額、市税、地方交付税、市債の推移（普通会計）



※ 令和3年度までは決算数値、令和4・5年度は当初予算数値としています。

## 2 市債発行額と公債元金との差、市債残高の推移（普通会計）



※ 令和3年度までは決算数値、令和4・5年度は当初予算数値としています。

### 3 基金及び市債残高の状況

#### (1) 健全な財政運営

##### ■基金残高（一般会計・特別会計）の維持

新市発足時基金残高・・・・・・・・・・110億5,354万4千円

令和3年度末基金残高・・・・・・・・・・150億1,738万5千円

令和4年度末基金残高見込・・・・・・・・128億7,961万6千円

##### ■市債残高（一般会計・特別会計・企業会計）の削減

区 分	平成16年度末	令和3年度末	令和4年度末見込
平成16年度末以降の市債残高減少額(累計)		△340億9,725万1千円	△339億3,964万2千円
対前年度市債増減額(単年度増減額)		△9億4,252万8千円	1億5,760万9千円
市債残高	745億9,625万5千円	404億9,900万4千円	406億5,661万3千円

17年間で約341億円を削減

令和3年度から令和4年度へ約10.6億円の地方債を繰越しているため残高が増加

#### (2) 基金の状況（一般会計・特別会計）

区 分	令和3年度末	令和4年度末見込	令和5年度増減	令和5年度末見込	
基金総額	150億1,738万5千円	128億7,961万6千円	△20億404万円	108億7,557万6千円	
内 訳	財政調整基金	47億332万4千円	32億5,304万7千円	△13億9018万9千円	18億6,285万8千円
	減債基金	8億8,553万円	5億8,580万9千円	△2億9,986万3千円	2億8,594万6千円
	職員退職手当基金	4億2,000万円	4億9,979万9千円	2億1,098万5千円	7億1,078万4千円
	市民病院基金	9億3,278万4千円	9億3,307万8千円	14万4千円	9億3,322万2千円
	合併特例基金	29億8,464万5千円	27億1,655万円	△3億2,434万円	23億9,221万円
	あなたのふるさと 救済基金	5億7,865万4千円	5億1,525万5千円	△972万6千円	5億552万9千円
	その他の基金	45億1,244万8千円	43億7,607万8千円	△1億9,105万1千円	41億8,502万7千円

(3) 市債残高の状況（一般会計・特別会計・企業会計）

（単位：千円）

区分	16年度末	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	3年度末	4年度末 見込額	5年度末 見込額
(1) 16年度末以降の市債 残高減少額（累計）		△ 23,699,939	△ 25,700,463	△ 27,516,732	△ 29,548,526	△ 31,295,434	△ 31,917,710	△ 33,154,723	△ 34,097,251	△ 33,939,642	△ 33,813,492
(2) 対前年度市債減少額 （単年度減少額）		△ 1,376,360	△ 2,000,524	△ 1,816,269	△ 2,031,794	△ 1,746,908	△ 622,276	△ 1,237,013	△ 942,528	157,609	126,150
(3) 市債残高総額	74,596,255	50,896,316	48,895,792	47,079,523	45,047,729	43,300,821	42,678,545	41,441,532	40,499,004	40,656,613	40,782,763
① 一般会計	48,020,201	30,944,987	29,593,837	27,966,411	26,678,193	25,447,389	25,190,053	24,456,930	23,935,027	23,927,820	23,209,492
② 特別会計	20,087,897	13,630,384	13,328,758	13,274,436	4,627,904	176,017	150,046	145,416	199,671	232,933	221,325
国民健康保険事業（直診 勘定）特別会計	265,522	270,675	225,848	252,674	213,187	176,017	150,046	145,416	199,671	232,933	221,325
介護保険事業特別会計	23,534	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅新築資金等貸付事 業特別会計	7,830										
簡易水道事業特別会計	2,217,222	1,449,663	1,543,724	1,809,862							
公共下水道事業特別会 計	10,168,767	6,735,725	6,522,489	6,389,212							
特定環境公共下水道事 業特別会計	712,538	304,750	284,770	263,060							
農業集落排水事業特別 会計	4,972,516	2,974,084	2,818,820	2,671,341	2,556,730						
漁業集落排水事業特別 会計	1,577,946	1,754,598	1,802,199	1,767,898	1,748,377						
林業集落排水事業特別 会計	20,332	7,344	6,934	6,517	6,093						
特定地域生活排水事業 特別会計	26,000	87,580	80,479	72,887	65,081						
個別排水事業特別会計	95,690	45,965	43,495	40,985	38,436						
③ 企業会計	6,488,157	6,320,945	5,973,197	5,838,676	13,741,632	17,677,415	17,338,446	16,839,186	16,364,306	16,495,860	17,351,946
水道事業会計	2,195,806	2,647,051	2,566,149	2,673,973	4,431,679	4,413,481	4,371,134	4,309,963	4,225,213	4,524,831	5,571,848
下水道事業会計					6,380,596	10,538,310	10,399,825	10,090,102	9,735,988	9,621,037	9,496,392
病院事業会計	4,292,351	3,673,894	3,407,048	3,164,703	2,929,357	2,725,624	2,567,487	2,439,121	2,403,105	2,349,992	2,283,706

## 4 主な財政関係指標

### (1) 財政力指数（単年度）

令和4年度	令和3年度	令和2年度
0.324	0.309	0.329

※ 財政力指数とは、1年間に必要とする経費のうち、税収でどのくらいまかなっているかを示す指標です。この指数が大きいほど財政的に余裕があるとされ、この指数が1を超えると、普通交付税の不交付団体となります。

### (2) 経常収支比率（決算）

令和3年度	令和2年度	令和元年度
87.9%	92.1%	95.3%

※ 経常収支比率とは、税や地方交付税等の経常的に収入される一般的な財源を、人件費、扶助費、公債費等の経常的に支出する経費にどれくらい充てているかを示す指標です。この比率が高ければ高いほど、財源的な余裕がなく、財政状況が厳しいことを示しています。

### (3) 実質公債費比率（単年度）

令和3年度	令和2年度	令和元年度
6.1%	5.4%	5.3%

※ 実質公債費比率とは、収入に対する公債費等の占める割合を示す指標です。3か年の平均が18%以上の場合は、地方債の発行について国の許可が必要となります。また、財政健全化判断比率上では、この数値が25%以上で早期健全化段階となり、財政運営を行う上で国による制限がかかります。萩市の場合、令和元年度から令和3年度までの3か年平均は5.6%といずれの基準もクリアしており、健全な状態であるといえます。

#### (4) 将来負担比率（決算）

令和3年度	令和2年度	令和元年度
—	1.8	—

※「—」は、将来負担額がないことを示します。

※ 将来負担比率とは、将来に渡って支払う必要があるものの総額が1年間の収入総額に対してどのくらいの割合かを示す指標で、将来の財政のひっ迫度合いを示す指標です。財政健全化判断比率上では、この数値が350%以上で早期健全化段階となり、財政運営を行う上で国による制限がかかります。萩市の場合、基準をクリアしており、健全な状態であるといえます。

#### (5) 義務的経費比率（一般会計）

令和5年度	令和4年度	令和3年度
44.0%	45.4%	45.6%

※ 義務的経費比率とは、歳出に占める義務的経費（人件費、扶助費、公債費の合計）の割合で、比率が高ければ高いほど自由に使える予算が少ないことを示す指標です。

#### (6) 投資的経費比率（一般会計）

令和5年度	令和4年度	令和3年度
10.6%	10.5%	10.6%

※ 投資的経費比率とは、歳出に占める投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費の合計）の割合を示す指標です。

### Ⅲ 各部局別予算の概要

P14～15では、萩市基本ビジョン めざすまちづくり（基本方針）別主要事業の一覧を記載しています。

P16以降は、各部局別の当初予算の概要です。

※令和5年2月1日時点の組織・機構で作成しています。

- ◆「予算編成の考え方」・・・各部局の令和5年度予算編成の考え方について記載しています。
- ◆「主要事業の概要」・・・各部局が周知したい事業や新規事業を中心に事業内容の説明を記載しています。

総	務	部	.....	P16～P17		
総	合	政	策	部	.....	P18～P23
総	合	事	務	所	.....	P24～P29
市	民	部	.....	P30～P31		
福	祉	部	.....	P32～P35		
保	健	部	.....	P36～P39		
農	林	水	産	部	.....	P40～P44
商	工	観	光	部	.....	P45～P49
土	木	建	築	部	.....	P50～P54
教	育	委	員	会	.....	P55～P57
消	防	本	部	.....	P58～P60	

## ◆萩市基本ビジョン めざすまちづくり（基本方針）別主要事業

萩市の将来像やまちづくりの方向性を市民と共有し、市民と行政が一体となって進めるまちづくりの指針である萩市基本ビジョンに掲げる、めざすまちづくり（基本方針）に沿った主な事業です。

### だれもが生きいきと暮らせるまちづくり

- ＜新規＞手話劇祭開催事業（67万5千円）・・・・・・・・・・（P32下）
- ＜新規＞障がい者緊急安心サポート事業（23万1千円）・・・・・・・・・・（P33上）
- 看護師確保対策事業（175万円）・・・・・・・・・・（P37上）
- 中核病院形成推進事業（2,917万1千円）・・・・・・・・・・（P37下）

### 子育ての幸せが実感できるまちづくり

- GO-ENプロジェクト推進事業（250万円）・・・・・・・・・・（P19下）
- 子育て世帯応援誕生祝金事業（2,000万円）・・・・・・・・・・（P33下）
- 多子世帯応援誕生祝金事業（1,180万円）・・・・・・・・・・（P34上）
- 保育士緊急確保対策事業（100万円）・・・・・・・・・・（P34下）
- ＜新規＞保育所等施設整備費補助事業（9,537万円）・・・・・・・・・・（P35上）
- ＜新規＞公立保育所おむつ処分事業（53万9千円）・・・・・・・・・・（P35下）
- 出産・子育て応援事業（2,028万6千円）・・・・・・・・・・（P38下）
- ＜新規＞新生児聴覚検査費助成事業（100万円）・・・・・・・・・・（P39上）
- 不妊症・不育症治療費助成事業（308万8千円）・・・・・・・・・・（P39下）
- ＜拡充＞子育て世帯応援学校給食費助成事業（1億726万2千円）・・・・（P56上）
- がんばろう萩！学校給食用食材価格高騰対策事業（1,552万8千円）・・・・（P56中）

### 未来を担うひとを育むまちづくり

- 高校魅力化支援事業（517万2千円）・・・・・・・・・・（P20上）
- 奨学金返還支援事業（113万3千円）・・・・・・・・・・（P55下）
- ＜新規＞スポーツ指導者等地域人材育成事業（400万4千円）・・・・（P57下）

### 産業活力があふれるまちづくり

- ＜新規＞農地管理省力化推進事業（300万円）・・・・・・・・・・（P41上）
- 次世代農業・畜産経営拡大支援事業（1,000万円）・・・・・・・・・・（P41中）
- 特定地域づくり事業協同組合運営支援事業（767万4千円）・・・・・・・・（P41下）
- ＜新規＞里山私有林保全事業（500万円）・・・・・・・・・・（P42上）
- 森・職・人づくり事業（4,319万5千円）・・・・・・・・・・（P42下）
- 森と暮らしのつながり創造事業（1,378万1千円）・・・・・・・・・・（P43上）
- 水産物魚価向上対策支援事業（299万4千円）・・・・・・・・・・（P43下）



- シルバー人材センター事務所整備事業（5,455万円）・・・・・・・・・・（P46上）
- ＜新規＞萩焼魅力発信事業（190万円）・・・・・・・・・・（P46下）
- ＜新規＞萩暮らしnet.改修事業（449万5千円）・・・・・・・・・・（P47上）
- 道の駅「萩・さんさん三見」リニューアル事業（9,891万9千円）・・・・・・・・（P47中）
- ＜新規＞萩テレワークライフマッチング事業（550万円）・・・・・・・・・・（P47下）
- 山陰道アクセス道路整備事業（3,000万円）・・・・・・・・・・（P51下）

魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり

- ジオパーク推進事業（1,470万4千円）・・・・・・・・・・（P23上）
- 香雪園整備事業（634万1千円）・・・・・・・・・・（P48上）
- 史跡大板山たたら製鉄遺跡保存整備事業（2,028万5千円）・・・・・・・・（P48中）
- ＜新規＞萩まちじゅう博覧会開催事業（400万円）・・・・・・・・・・（P49上）

生活基盤の充実した住みよいまちづくり

- 新防災行政無線整備事業（3億766万5千円）・・・・・・・・・・（P17上）
- ＜新規＞個別避難計画作成推進事業（881万1千円）・・・・・・・・・・（P17中）
- ケーブルテレビ放送光ファイバー整備事業（2億3,565万3千円）・・・・・・・・（P20下）
- ＜新規＞し尿等汚水処理一元化事業（773万7千円）・・・・・・・・・・（P31下）
- ＜新規＞万才園線道路整備事業（2,100万円）・・・・・・・・・・（P51上）
- ＜新規＞都市計画用途地域変更事業（690万円）・・・・・・・・・・（P54下）
- 消防指令センター共同整備事業（3億9,235万3千円）・・・・・・・・・・（P59上）
- ＜新規＞消防器庫整備事業（4,196万8千円）・・・・・・・・・・（P59下）
- ＜新規＞ドローン整備事業（248万8千円）・・・・・・・・・・（P60上）
- 防火水槽整備事業（2,600万円）・・・・・・・・・・（P60下）

だれからも愛されるまち、求められるまちづくり

- 自治体DX推進事業（4,144万1千円）・・・・・・・・・・（P21上）
- 移住促進対策事業（4,133万9千円）・・・・・・・・・・（P21下）
- ＜新規＞中山間地域定住促進モデル構築事業（1,160万円）・・・・・・・・・・（P22上）
- ＜新規＞見島定住住宅整備事業（449万2千円）・・・・・・・・・・（P22下）
- ＜新規＞川上地域観光振興施設環境整備事業（311万9千円）・・・・・・・・（P24中）
- ＜新規＞川上体育館トイレ改修事業（268万9千円）・・・・・・・・・・（P24下）
- 地域彩り交流促進事業（1,067万5千円）・・・・・・・・・・（P25～29）
- ＜新規＞田万川グラウンドトイレ改修事業（462万8千円）・・・・・・・・・・（P25下）
- ネムの丘キャンプ場環境整備事業（380万4千円）・・・・・・・・・・（P26下）
- 須佐地域観光振興施設等改修事業（339万6千円）・・・・・・・・・・（P27下）
- ＜新規＞萩アクティビティパーク環境整備事業（448万円）・・・・・・・・・・（P28下）
- 福栄地域体育施設改修事業（400万4千円）・・・・・・・・・・（P29下）

## ＜総務部予算の概要＞

### ◆予算編成の考え方

少子化等による人口減少に加え、長引くコロナ禍、さらには、原油価格や物価の高騰などが、市民生活や地域経済に大きな影響を与え、先行きの不透明な状況が続き、人々の価値観の変化とともに、社会のあり方や働き方等も変化しつつあります。

このような中、市政運営についても、新たな技術や制度を積極的に取り入れ、変化する社会情勢に対応し、行政課題に迅速に取り組む組織力が求められています。また、地方公務員法の改正による、定年年齢の段階的な引上げや役職定年制度等の導入に伴い、高齢期の職員のキャリアをいかす配置や若手職員の育成など、全ての職員にとって働きやすい環境づくりが必要となります。

引き続き、限られた人材及び財源を効率的に活用するため、事務事業の見直しや効率化を図るとともに、新規職員の計画的な採用や職場環境の整備、各段階に応じた研修の実施など、適正な人事管理と職員の能力の向上に努めます。

市政や市に関する情報につきましては、市民の皆様へ、適時、的確に、より多くの情報をお届けできるよう、偶数月に広報紙を2回（1日・15日）発行するほか、市公式ホームページやSNS、ケーブルテレビ、FMラジオ等、多様な媒体を通じた分かりやすい情報を発信し、効果的な広報活動に努めます。また、市民のニーズを的確に把握し、市政に反映するため、様々な手段で市民の皆様の声を伺う機会を設けます。

災害や国民保護事案等の発生時において、市民の皆様の大切な生命と財産を守るためには、迅速に、正確な情報を伝達することが必要不可欠です。このため、緊急情報を配信する手段として防災行政無線のデジタル化を行います。また、災害発生時に自ら避難することが困難で、支援の必要な方が、安全に避難できるよう、「逃げ遅れゼロ」に向けて取り組みます。さらに、萩市東部を襲った集中豪雨の発生から10年を迎える令和5年7月28日には、当時の災害の記憶と教訓を風化させることなく、次世代に引き継ぎ、災害への備えにつなげていくため、記念行事を開催するなど、引き続き、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる安全・安心なまちづくりを進めていきます。

## ◆主要事業の概要

### ■新防災行政無線整備事業（3億766万5千円）

（担当課：防災危機管理課）

大雨、地震、津波等の自然災害やテロ、国民保護等の緊急情報を配信するため、防災行政無線を整備します。

事業期間：平成27～令和5年度

総事業費：15億2,693万5千円

事業内容：新防災行政無線ネットワークシステムの整備  
旭地域（第7期）の防災行政無線デジタル化

[財源内訳] 市債 3億760万円、一般財源 6万5千円

### ■＜新規＞個別避難計画作成事業（881万1千円）

（担当課：防災危機管理課）

災害対策基本法の改正に伴い、災害時の避難等に支援が必要な方（避難行動要支援者）の個別避難計画作成します。

事業内容：個別避難計画作成業務委託  
避難行動要支援者管理システム構築業務委託

[財源内訳] 一般財源 881万1千円

### ■＜新規＞萩市東部集中豪雨災害10年記念行事開催事業（103万6千円）

（担当課：防災危機管理課）

平成25年7月28日に発生した萩市東部集中豪雨から10年が経過することから、当時の経験と教訓を忘れないよう、住民やボランティアの方が参加する記念行事を開催します。

事業内容：講演会の開催  
復興状況を振り返る「ご縁ウォーク」や災害ボランティア講座の開催支援

[財源内訳] 一般財源 103万6千円

## ＜総合政策部予算の概要＞

### ◆予算編成の考え方

萩市基本ビジョンに掲げる「社会増減のマイナスを100人以内、出生数を200人以上」とする目標達成に向け、各部局と連携して、喫緊の課題である人口減少・少子化対策に効果的な施策を展開します。

令和5年度から7年度の3か年を集中取組期間と位置づけ、「若者の働く場の創出と確保」、「移住を促進する住まいの確保と提供」、「出生・子育て・教育環境の充実」を、人口減少・少子化対策の3本柱として掲げ、組織横断的に、新たな施策を検討するとともに、第2期萩市総合戦略に沿った実効性のある地方創生の取組を推進します。

移住・定住施策の推進に当たっては、はぎポルト-暮らしの案内所-を核として、移住者の相談にきめ細かく対応するとともに、移住支援制度の拡充など、萩市への円滑な移住を支援します。

また、都市部との情報通信基盤の格差是正が重要となることから、光ファイバー網の整備を行います。

さらに、デジタル技術やデータの活用により、新たな価値を生み出し、行政・地域社会の仕組みやあり方を変革させるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の取組を推進し、オンライン申請システム等の導入による行政サービスの利便性向上や行政事務の効率化を進めるとともに、スマートフォンの活用方法に関する相談窓口を開設するなど、市民の皆様がデジタル技術の恩恵を受けることができる社会の実現を目指してまいります。

長引くコロナ禍に加え、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響下にあって、地域産業の振興は喫緊の課題です。地域産業の振興を図るため、ターゲットに応じた情報発信力を強化し、魅力ある萩市産品のブランド力を高めるとともに、販路拡大を促進し、地域の稼ぐ力の向上に取り組みます。

また、萩市の産業や地域社会の将来を担う若者の育成や地域の担い手となる人材力の強化に取り組むとともに、市内高等学校の魅力化を図るなど、萩ならではの特色ある学びの場を提供します。

さらに、萩ジオパークが日本ジオパークに認定されて5年となることを記念したイベントを開催するとともに、再認定時に示された課題に取り組み、萩ジオパーク推進協議会を中心に、地域住民と一体となった更なるジオパーク活動を展開します。

## ◆主要事業の概要

### ■＜新規＞企業版ふるさと寄附推進事業（240万7千円）

（担当課：企画政策課）

地方創生の推進に当たり、第2期萩市総合戦略に掲げる事業の財源として活用するため、企業版ふるさと納税制度による寄附金の一層の確保に取り組みます。

事業内容：企業訪問  
企業版ふるさと納税ポータルサイトの活用  
企業版ふるさと納税マッチング支援業務委託

[財源内訳] 総務費寄附金 180万円、一般財源 60万7千円

### ■GO-ENプロジェクト推進事業（250万円）

（担当課：企画政策課）

結婚を希望される方が、一人でも多く出逢いの場に恵まれるよう、長門市・美祢市と連携し、定住人口の増加及び若者の定着を図ります。

実施主体：GO-ENプロジェクト実行委員会

総事業費：750万円

事業内容：婚活・恋活イベント、スキルアップセミナーの開催  
結婚相談会・機運醸成イベントの開催  
出逢いサポートセンターの運営（オンライン相談の強化）  
応援企業制度の導入

[財源内訳] 総務費国庫補助金 166万円、一般財源 84万円

## ■高校魅力化支援事業（517万2千円）

（担当課：産業戦略室）

市内高等学校の魅力化を図るため探究学習支援による人材育成プログラムを実施し、課題解決やコミュニケーション、表現力などの能力の向上を図ります。

事業内容：高校魅力化支援業務委託  
＜新規＞高校生探究プロジェクト活動費補助金

[財源内訳] 教育費県補助金 199万7千円  
あなたのふるさと萩応援基金繰入金 20万円、雑入 66万5千円  
一般財源 231万円

## ■ケーブルテレビ放送光ファイバー整備事業（2億3,565万3千円）

（担当課：情報政策課）

萩市総合情報施設が提供するケーブルテレビ放送について、地域間格差の解消及び災害に強い情報通信基盤を構築するため、川上・福栄地域のケーブルテレビ放送の光化に取り組みます。

事業期間：令和3～5年度

総事業費：4億5,697万3千円

事業内容：川上地域  
設備設計監理業務委託、光ファイバー敷設工事、放送機器整備工事  
宅内引込工事等

[財源内訳] 総務費国庫補助金 7,291万6千円、市債 1億6,270万円  
一般財源 3万7千円

## ■自治体DX推進事業（4,144万1千円）

（担当課：DX推進室）

デジタル社会の実現に向けて国が策定した「自治体DX推進計画」を踏まえ、デジタル技術の活用による行政サービスの利便性向上や行政事務の効率化を図るとともに、市民の皆様がデジタル技術の恩恵を受けることができるよう、相談窓口の開設などを行います。

事業内容：施設予約システムの導入  
行政事務用ローコード（簡易アプリ作成）ツールの導入  
文書管理システムの導入  
自治体情報システム標準化移行準備業務委託  
「スマホよろず相談所」の開設等

〔財源内訳〕 雑入 913万9千円、一般財源 3,230万2千円

## ■移住促進対策事業（4,133万9千円）

（担当課：おいでませ、豊かな暮らし応援課）

萩市への移住を促進するため、「はぎポルト - 暮らしの案内所 - 」を核として、「空き家情報バンク」による空き家の利活用を図るとともに移住者の相談にきめ細かく対応し、円滑な移住を支援します。

主な事業内容：＜新規＞空き家賃貸住宅化促進事業補助金  
賃貸住宅の空き家情報バンクへの登録を促すため、空き家所有者に改修に要する経費を支援  
補助率 10/10（上限200万円）

＜新規＞空き家ハウスクリーニング事業補助金  
空き家の利活用による定住促進を図るため、空き家情報バンク登録賃貸物件のクリーニング費用の一部を支援  
補助率 1/2（上限5万円）

＜拡充＞若者・子育て世代移住応援事業補助金  
若者世代等の定住促進を図るため、若者・子育て世代を対象に賃貸住宅の家賃の一部を支援  
補助率 1/2（上限2万円/月）※最長2年間

〔財源内訳〕 総務使用料 39万2千円、雑入 12万円、一般財源 4,082万7千円

## ■＜新規＞中山間地域定住促進モデル構築事業（1,160万円）

（担当課：おいでませ、豊かな暮らし応援課）

中山間地域への子育て世代の定住を促進するため、円滑な移住・定住を促す、空き家を活用した定住促進モデルの構築に取り組みます。

事業内容：空き家を活用した定住促進住宅（1戸）の整備  
設計監理業務委託  
建物・設備改修工事  
土地購入 700㎡

定住促進事業補助金（空き家改修費補助金）  
居住する定住促進住宅から、地区内の空き家に住み替える方を対象に、  
改修費の一部を補助  
補助率 2/3（上限100万円）

実施地区：佐々並地区

[財源内訳] 総務費国庫補助金 412万9千円、市債 580万円  
一般財源 167万1千円

## ■＜新規＞見島定住住宅整備事業（449万2千円）

（担当課：おいでませ、豊かな暮らし応援課）

見島の定住を促進するため、定住住宅を整備します。

事業期間：令和5～6年度

総事業費：1億1,020万4千円

事業内容：設計業務委託、地質調査業務委託等（令和5年度）  
建築工事（令和6年度）

[財源内訳] 市債 330万円、一般財源 119万2千円



## ■ジオパーク推進事業（1,470万4千円）

（担当課：ジオパーク推進課）

日本ジオパークネットワークに加盟して5周年を迎えることから、記念イベントを開催するとともに、更なる情報発信に努め、「大地と人のつながり」をキーワードとして、「地球の視点で「萩らしさ」が見える、伝わるまち」を目指したジオパーク活動を展開し、一層の深化を図ります。

事業内容：ジオパーク活動の支援

萩ジオパーク推進協議会が実施する講座や人材養成、イベント等の開催  
市民団体等が行うジオパーク活動に対する支援  
日本ジオパーク認定5周年イベントの開催

ジオサイトの環境保全及び拠点施設の運営

龍鱗郷、畳ヶ淵、弥富溶岩露頭等の環境整備  
笠山山頂展望台の運営

[財源内訳] 総務費国庫補助金 275万円、財産貸付収入 21万6千円  
合併特例基金繰入金 810万円、一般財源 363万8千円

## ＜総合事務所予算の概要＞

### ◆予算編成の考え方

総合事務所管内では、人口減少や少子高齢化を背景に様々な課題が表面化しています。課題の解消を図る取組を推進するに当たっては、地域の実情を把握する総合事務所が主体となって、住民の皆様のご意見を反映し、計画的に事業に取り組むことが効果的です。

こうしたことから、総合事務所予算は、各地域に設置いたしました地域事業懇話会のご意見をお聴きしながら作成した「地域事業計画」のもとで編成しました。

各地域の体育館や公民館など住民の皆様が日常的に利用される施設の改修に取り組み、利便性の向上を図ります。

その他、花を活用し地域の魅力化を推進する「地域彩り交流促進事業」やキャンプ場等のインターネット環境を整備することによる交流人口の拡大を図る事業などに取り組めます。

### ◆主要事業の概要

#### ＜川上総合事務所＞

##### ■＜新規＞川上地域観光振興施設環境整備事業（311万9千円）

萩阿武川温泉公園周辺の各施設にインターネット環境を整備し、利用者の増加や利便性の向上を図るとともに、地域内の案内看板等を整備し、交流人口の増加を図ります。

事業内容：萩阿武川温泉公園周辺施設Wi-Fi設備整備工事  
観光案内看板設置工事  
長門峡外灯取替工事

[財源内訳] 合併特例基金繰入金 90万円、市債 220万円、一般財源 1万9千円

##### ■＜新規＞川上体育館トイレ改修事業（268万9千円）

施設利用者の利便性向上を図るため、トイレの洋式化を行います。

事業内容：トイレ洋式化改修工事  
男性用 1基、女性用 2基

[財源内訳] 教育費県補助金 207万円、市債 60万円、一般財源 1万9千円

## 《田万川総合事務所》

### ■地域彩り交流促進事業（61万7千円）

田万川キャンプ場にツツジを植栽するなど、道の駅・キャンプ場・温泉施設等と連携し、交流人口の拡大を図ります。

開花時期：4～5月

植栽延長：90m

[財源内訳] あなたのふるさと萩応援基金繰入金 48万円、一般財源 13万7千円

### ■＜新規＞田万川グラウンドトイレ改修事業（462万8千円）

施設利用者の利便性向上を図るため、トイレの洋式化等を行います。

事業内容：設備設計業務委託  
トイレ洋式化改修工事  
男性用 1基、女性用 3基  
多目的トイレ スライドドア修繕、便座取替

[財源内訳] 市債 460万円、一般財源 2万8千円

## 《むつみ総合事務所》

### ■地域彩り交流促進事業（291万2千円）

伏馬山山麓に菜の花及びひまわりを咲かせる「むつみフラワーロード」の取組を継続するとともに、萩市むつみ農産物加工販売施設 萩・むつみの恵（キッチンばあ〜ば）、むつみ昆虫王国などと連携したイベントを開催し、交流人口の拡大を図ります。

開花時期：菜の花 3～4月  
ひまわり 7～8月

植栽面積：各4ha

イベント実施日：むつみ菜の花まつり 令和5年4月16日（日）（予定）  
むつみひまわりロードフェスタ 令和5年8月6日（日）（予定）

[財源内訳] あなたのふるさと萩応援基金繰入金 290万円、一般財源 1万2千円

### ■ネムの丘キャンプ場環境整備事業（380万4千円）

伏馬山ネムの丘に整備している施設のうち、老朽化している各種遊具やトイレの修繕等を行います。また、伏馬山周辺の樹木が山頂からの景観を阻害しているため、樹木を一部伐採し、眺望を確保します。

事業内容：遊具の一部撤去、修繕  
トイレのドア、屋根の修繕  
山頂付近の樹木の一部伐採

[財源内訳] 合併特例基金繰入金 240万円、一般財源 140万4千円

## 《須佐総合事務所》

### ■地域彩り交流促進事業（240万4千円）

萩ジオパークのジオサイトである畳ヶ淵入口周辺に弥富地区ゆかりのそばの花を咲かせる取組を継続するとともに、新たに須佐地区において、須佐駅周辺の歩道沿いにチューリップを植栽し、観光客等の誘客により須佐駅前の活性化を図ります。

開花時期：そば 9～10月  
チューリップ 3～4月

植栽面積：そば 1,500㎡  
チューリップ 100㎡

[財源内訳] あなたのふるさと萩応援基金繰入金 40万円、一般財源 200万4千円

### ■須佐地域観光振興施設等改修事業（339万6千円）

利用者の利便性及び安全性の向上を図るため、観光関連施設の環境整備を行います。

事業内容：須佐海苔石休憩所（つわぶきの館）改修工事  
玄関アプローチ床の改修  
老朽化した展望所手摺と階段の解体撤去  
畳ヶ淵公衆トイレ解体工事  
弥富ふれあい公園屋外遊具等撤去工事等

[財源内訳] 合併特例基金繰入金 260万円、一般財源 79万6千円

## 《旭総合事務所》

### ■地域彩り交流促進事業（252万7千円）

道の駅あさひ周辺にヒガンバナの植栽を引き続き行うとともに、佐々並市伝統的建造物群保存地区内を周遊する花を活用した新たな散策コースの構築など、地域団体と連携し、地域の活性化と交流人口の拡大を図ります。

開花時期：9月中下旬

事業内容：ヒガンバナの植栽 約300㎡  
駐輪場解体撤去工事

[財源内訳] あなたのふるさと萩応援基金繰入金 112万円、一般財源 140万7千円

### ■＜新規＞萩アクティビティパーク環境整備事業（448万円）

萩アクティビティパーク内の各所にインターネット環境を整備するとともに洗濯機及び乾燥機を更新し、施設の利便性向上とワーケーションなど新たな客層をターゲットとした利用者の増加を図ります。

事業内容：萩アクティビティパークWi-Fi設備整備工事  
洗濯機・乾燥機購入（キャンプ場サニタリー棟）

[財源内訳] 合併特例基金繰入金 70万円、市債 370万円、一般財源 8万円

## 《福栄総合事務所》

### ■地域彩り交流促進事業（221万5千円）

福栄地域の拠点施設である道の駅ハピネスふくえ及び大板山たたら製鉄遺跡周辺に花を植栽し、交流人口の拡大を図るとともに、良好な景観づくりに努めます。

事業内容：道の駅ハピネスふくえ

インパチェンスをプランターに植栽し展示 ※開花期間（6～11月）  
大板山たたら製鉄遺跡  
花菖蒲を植栽

事業主体：福栄彩りの花交流促進協議会

※花卉生産者、地域関係団体等で構成する任意団体

[財源内訳] あなたのふるさと萩応援基金繰入金 220万円、一般財源 1万5千円

### ■福栄地域体育施設改修事業（400万4千円）

施設利用者の利便性や安全性の向上を図るため、トイレの洋式化等の改修を行います。

事業内容：福栄体育館トイレ洋式化改修工事

男性用 1基、女性用 2基

福栄グラウンドトイレ洋式化改修工事

男性用 1基、女性用 1基

紫福山村広場照明設備撤去工事

紫福体育館電気設備改修工事

[財源内訳] 教育費県補助金 118万9千円、市債 30万円  
一般財源 251万5千円

## ＜市民部予算の概要＞

### ◆予算編成の考え方

市民部では、市民の生活に直接関わる部署として、生涯を通して健やかに、かつ、安心・安全に生活できる、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

そこで、地域の課題解決に大きな役割を果たすことが期待される市民活動や、地域住民が主体となり自治活動等を行うコミュニティ組織を支援するとともに、安心・安全な地域づくりのため、関係機関や団体と協力して、交通安全運動・防犯活動・暴力追放運動を推進します。

複雑・専門化する市民相談に対しては、引き続き、女性相談や消費生活等に関する専門の相談員を配置し、各種相談の解決に取り組みます。

また、戸籍事務へのマイナンバー制度導入のため戸籍情報連携システムの整備等デジタル化への取組を進めるとともに、引き続きマイナンバーカードの円滑な交付等を行います。

国民健康保険については、萩市の課題である「特定健康診査受診率の向上」、「糖尿病性腎症重症化予防」及び「ジェネリック医薬品の使用促進」について、引き続き重点的な取組を進めます。

さらに、持続可能で快適な環境づくりを目指し、「美しいまち・萩」を未来につなげられるよう、市民・事業者・行政の連携により、萩エコ大使任命制度をはじめとする環境教育や地域清掃など環境美化の活動に取り組みます。

廃棄物処理施設については、適切な運営・維持管理に努めるとともに施設の一元化や広域処理を検討し、将来に向けた適切なごみ処理体制を構築します。

引き続き、市民生活に欠かせない様々な行政サービスを提供するとともに、少子高齢化等の課題に対応し市勢を発展させる各種施策を実施するためには、自主財源の確保が重要となります。このため、納税者から信頼される公平で公正な賦課・徴収に取り組むとともに、納付環境の整備・拡大を図り納税者の利便性向上に努めます。



## ◆主要事業の概要

### ■介護予防等一体的実施事業（2,574万1千円）

（担当課：市民課）

高齢者の保健事業と介護予防事業等の一体的な取組を実施し、疾病予防や重症化防止を目的として被保険者等に必要な医療・介護サービスを総合的に分析し、状況に応じたきめ細かな支援を行います。

事業内容：健診・医療・介護等の情報を活用した地域の健康課題の分析、対象者の把握  
服薬管理指導  
健康状態不明者訪問  
専門職による運動等介護予防教室

〔財源内訳〕 雑入 2,147万6千円、一般財源 426万5千円

### ■＜新規＞し尿等汚水処理一元化事業（773万7千円）

（担当課：環境衛生課）

萩第二浄化センター（し尿処理場）と萩浄化センター（下水処理場）の統廃合による、し尿等の汚水処理の一元化に係る計画策定を行います。

事業内容：し尿等汚水処理一元化基本計画策定業務委託

〔財源内訳〕 合併特例基金繰入金 770万円、一般財源 3万7千円

## ＜福祉部予算の概要＞

### ◆予算編成の考え方

福祉部では、萩市基本ビジョンに掲げる、2つの目指すまちづくり「だれもが生きいきと暮らせるまちづくり」、「子育ての幸せが実感できるまちづくり」の実現に向けた施策を展開します。

一つ目の「だれもが生きいきと暮らせるまちづくり」を推進するため、高齢者や障がい者に配慮し、全ての市民が誇りと希望を持って暮らし続けることができるよう、医療・介護・福祉・保健等の関係機関が連携し充実した、だれもが暮らしやすいまちづくりを目指し、個性や特性を認め合いながら互いに支え合う、自立と協働による地域社会の実現に向けた取組を進めます。

高齢化の進展への対応については、高齢者の移動手手段の確保と利用しやすい環境の整備を図り、路線バスの運賃や離島航路の船賃の軽減を継続して行います。

また、障がい者の社会参加を促進し、共生社会を実現するための取組として、市民だれもが、手話が一つの言語であると認識できるよう、普及啓発を図るため、手話劇祭を開催します。

二つ目の「子育ての幸せが実感できるまちづくり」を推進するため、安心して子どもを産み、育てたいと思えるまちづくりを実現し、家庭や地域に笑顔があふれるよう、子育て環境の充実に向けた取組を進めます。

子育て世帯・多子世帯応援誕生祝金や幼児教育・保育の無償化、対象年齢を高校生等まで拡充した医療費助成制度など、経済的支援も継続して行います。

### ◆主要事業の概要

#### ■＜新規＞手話劇祭開催事業（67万5千円）

（担当課：福祉支援課）

全ての人にとって“手話は一つのことは”であり、手話が身近な言語であることについての理解を深め、その普及を図るため「手話劇祭」の開催を支援し、障がい者の社会参加促進、共生社会の推進に取り組みます。

事業内容：手話劇祭（手話ミュージカル）の開催

事業主体：全国手話言語市区長会手話劇祭実行委員会

事業費：337万5千円（うち萩市補助金67万5千円）

開催予定日：令和5年11月19日（日）

〔財源内訳〕 一般財源 67万5千円

## ■＜新規＞障がい者緊急安心サポート事業（23万1千円）

（担当課：福祉支援課）

主たる介護者が急な疾病等により介護することができない状況等、緊急対応が必要となった場合に、障がい者の方の受け入れ先を確保するなど安心して生活することができるようにサポートします。

〔財源内訳〕 民生費国庫補助金 11万5千円、民生費県補助金 5万7千円  
一般財源 5万9千円

## ■子育て世帯応援誕生祝金事業（2,000万円）

（担当課：子育て支援課）

次世代を担う子どもたちの誕生を祝福し、経済的支援を図り、子育てにやさしい魅力あるまちづくりを推進するため、新たに出生する子どもを持つ世帯に対し、市内共通商品券を支給します。

対象者数：200人（見込み）

支給額：10万円相当の市内共通商品券

〔財源内訳〕 あなたのふるさと萩応援基金繰入金 2,000万円

## ■多子世帯応援誕生祝金事業（1,180万円）

（担当課：子育て支援課）

多子世帯の経済的負担を軽減し、安心して生み育てることができるよう、強力に後押しするとともに、子育て世帯の移住・定住の促進を図るため、令和4年4月1日以降に出生した第2子以降の子どもを持つ世帯に対し、祝金を給付します。

対象者	時期	1歳に達した時 （保育園入園前）	6歳に達した時 （小学校入学前）	12歳に達した時 （中学校入学前）	総額
第2子		10万円	—	—	10万円
第3子		10万円	10万円	20万円	40万円
第4子以降		30万円	30万円	30万円	90万円

給付時期：1歳、6歳、12歳に達する誕生日以降

対象者数：第2子 67人、第3子 24人、第4子以降 9人（見込み）

給付方法：現金

[財源内訳] あなたのふるさと萩応援基金繰入金 1,180万円

## ■保育士緊急確保対策事業（100万円）

（担当課：子育て支援課）

市内保育所等において保育士が不足していることから、勤務されていない有資格者（保育士）で、働く意思のある方に対し、就職への支援に取り組みます。

事業内容：就職支度金の支給

市内在住者 1人当たり 10万円

市外転入者 1人当たり 40万円

対象者：常勤であること（萩市正規職員を除く。）

就職後、2年以上継続して、保育士業務に従事する意思があること

過去3か月間、保育士業務に従事していない方

対象施設：公立保育所、民間保育所、認定こども園

[財源内訳] あなたのふるさと萩応援基金繰入金 100万円

## ■＜新規＞保育所等施設整備費補助事業（9,537万円）

（担当課：子育て支援課）

ニーズが増加している3歳未満児の定員を増やすための施設整備等を行う認定こども園に対して、経費の一部を支援します。

事業主体：認定こども園萩光塩学院幼稚園

整備内容：保育室、トイレ等の改修

総事業費：1億2,716万円（うち萩市補助金9,537万円）

負担割合：市1／4、国1／2、事業主体1／4

〔財源内訳〕 民生費国庫補助金 6,358万円、市債 3,170万円、一般財源 9万円

## ■＜新規＞公立保育所おむつ処分事業（53万9千円）

（担当課：子育て支援課）

大便の使用済みおむつの処分を公立保育所で実施し、衛生面や処分において保護者や保育士の負担軽減を図ります。

事業内容：ポリペール、ポリ袋、おむつ処理容器の購入  
椿保育園ごみ収集箇所のフェンス改修工事

対象施設：公立保育所

〔財源内訳〕 合併特例基金繰入金 19万円、一般財源 34万9千円

## <保健部予算の概要>

### ◆予算編成の考え方

萩市基本ビジョンに掲げる「だれもが生きいきと暮らせるまちづくり」や「子育ての幸せが実感できるまちづくり」の実現に向け、医療・介護・福祉・保健等の関係機関の連携を更に深め、各種施策を進めます。

地域医療では、医師や看護師等の医療従事者の不足や高齢化が深刻な課題であり、将来にわたり市民が地域において安心して暮らしていくためには、救急医療をはじめ医療体制の確保が不可欠です。限られた医療資源を効率的に活用できるよう中核病院づくりに向けた取組を進めるとともに、各地域の国保診療所についても、効率的で持続可能な運営体制の検討・見直しを進めます。また、看護師確保対策として、看護師資格をお持ちの方の再就職支援などを行ってまいります。

健康づくりでは、いつまでも健康で元気に暮らすことができるよう、節塩や健康体操などの生活習慣の改善や疾病予防をはじめ、それぞれの年齢に応じた健康づくりを推進し、健康寿命の延伸に向け継続的に取り組めます。

妊娠・出産・子育てに関しては、子育て世代包括支援センターHAGU（はぐ）を総合相談窓口として、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境づくりに向け、伴走型相談支援と経済的支援を一体として実施します。また、新たに新生児の聴覚検査費用の助成を行うとともに、不妊症や不育症の治療についての助成、子宮頸がん・風しん・おたふくかぜワクチン予防接種費用の助成を継続します。

新型コロナウイルス感染症については、関係機関と連携し、引き続き感染拡大防止や医療提供体制の確保などの対策に取り組めます。

## ◆主要事業の概要

### ■看護師確保対策事業（175万円）

（担当課：地域医療推進課）

市内医療機関の看護師確保を目的に、勤務されていない有資格者（潜在看護師）で働く意思のある方に対し、相談から技術指導、研修、再就職まで包括的な支援に取り組みます。

事業内容：再就職相談窓口の設置  
技術指導、研修支援、就職支度金の支給

〔財源内訳〕 あなたのふるさと萩応援基金繰入金 110万円、一般財源 65万円

### ■中核病院形成推進事業（2,917万1千円）

（担当課：中核病院準備室）

将来にわたり市民が安心して医療を受けられる体制の構築に向け、萩市民病院と都志見病院の統合による地域の医療連携の核となる中核病院づくりに向けた検討や準備を行います。

事業内容：中核病院づくりに向けた検討・準備  
2病院統合と地方独立行政法人化に向けた人事給与や財務の制度設計など、各種準備作業に係る支援業務委託や、法人の組織運営、定款・運営目標等に関する委員会の開催

〔財源内訳〕 一般財源 2,917万1千円

## ■子育て世代包括支援センター運営事業（935万1千円）

（担当課：健康増進課）

妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対して総合的相談や支援を行うワンストップ拠点として、子育て世代包括支援センターHAGU（はぐ）を運営します。

子育て世代のニーズに広く対応するため、乳児のみのショートステイ、デイケアサービスや家事援助ヘルパーサービスを新設します。

事業内容：ケアプランの作成

周産期ケアの拡充

助産師等の母子保健コーディネーターによる出産準備支援

産後の乳房ケアや授乳指導、妊産婦訪問等

産後ケアサービスの実施（市内医療機関等に委託）

ショートステイ・デイケア・ケア専門家の派遣

＜新規＞産後ケア緊急支援事業

乳児のショートステイ・デイケア

家事援助ヘルパーの派遣

母子アプリ「はぎHAGU」による妊娠から出産・子育てまでの情報発信

〔財源内訳〕 衛生費国庫補助金 598万5千円、衛生費県補助金 145万円  
一般財源 191万6千円

## ■出産・子育て応援事業（2,028万6千円）

（担当課：健康増進課）

全ての妊婦・子育て家庭が孤立感や不安感を抱くことなく、安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで、伴走型相談支援と経済的支援を一体として実施します。

対象者：妊娠・出産された方

事業内容：伴走型相談支援

出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等

面談時期：妊娠届出時、妊娠8か月前後、出生届出後

経済的支援

妊娠届出時の面談実施後 5万円（妊婦1人当たり）

出生届出後の面談実施後 5万円（新生児1人当たり）

〔財源内訳〕 衛生費国庫補助金 1,350万4千円、衛生費県補助金 339万円  
一般財源 339万2千円



## ■＜新規＞新生児聴覚検査費助成事業（100万円）

（担当課：健康増進課）

新生児の聴覚障害を早期に発見し、適切な療育を行うことにより、言語発達等への影響を最小限に抑えることを目的として、検査の費用の一部を支援します。

対象者：令和5年4月1日以降に生まれた新生児

事業内容：産科または耳鼻科の医療機関で実施される新生児聴覚検査の費用の助成  
1人当たり5千円（上限額）

〔財源内訳〕 一般財源 100万円

## ■不妊症・不育症治療費助成事業（308万8千円）

（担当課：健康増進課）

子どもを産み育てやすい環境づくりを推進するため、妊娠を希望して不妊症・不育症治療を受けられる夫婦に対し、経済的な負担軽減を図るために治療費の自己負担の一部や通院に係る交通費を支援します。

事業内容：一般不妊治療費給付事業

医療保険適用の一般不妊治療（タイミング法、薬物療法等）に対する助成

1年度当たり3万円以内（通算5年 ※3年目以降は医師判断が必要）

不妊治療サポート事業

医療保険適用の特定不妊治療（体外受精・顕微授精等）に対する助成  
1回の治療周期につき8万7千円（上限額）

＜新規＞通院交通費助成

市外、県外に通院される方への交通費の助成

1回の通院につき6千円（上限額）

不育症治療費給付事業

産婦人科等医療機関において不育症と診断された場合、その治療費に対する助成

1年度当たり20万円以内を助成

〔財源内訳〕 衛生費県補助金 23万円、衛生費県委託金 3千円

一般財源 285万5千円

## ＜農林水産部予算の概要＞

### ◆予算編成の考え方

過疎、少子・高齢化により、農林水産業の従事者は、年々減少が続き、担い手や後継者不足を招いています。さらに、コロナ禍や不安定な社会情勢による影響は、収束の兆しが見えず、農林水産業を取り巻く環境は、非常に厳しい状況が続いています。

このような課題を克服し、萩市における基幹産業の一つである、農林水産業を成長産業として、強力に推進するため、農林水産業者の所得向上につながる施策に取り組みます。

また、農林水産業の生産力強化の基礎となる生産基盤を整備し、近年多発する自然災害に備えた防災・減災機能対策や老朽化した施設の長寿命化対策を実施し、生産性の向上と安心安全なまちづくりを推進します。

農業分野においては、担い手不足の解消を図るため、引き続き、新規就農者支援や担い手の確保・育成・定着対策に取り組みます。

併せて、人口減少が進む地域に安定的な雇用環境を生み出すことで、地域社会の維持と地域経済の活性化に資することを目的として、令和4年に設立された「はぎ地域づくり協同組合」が、持続可能で安定した運営となるよう支援を行います。

加えて、高齢化等の影響により農業者の負担が大きくなっている除草作業について、負担軽減を図ることにより、労働力の流動化を進め、規模拡大や新規作物の作付け等の新たな取組に結び付けるため、「農地管理省力化推進事業」を創設します。

林業分野においては、「次世代まで幸せになる林業」を目指し、森林整備と森林資源利用を両輪として、森林団地の形成と適正な森林経営管理の推進、林業経営体や森林・林業に関わる人材の育成を促進するとともに、市民の皆様が森林や地域産木材を身近に感じる機会を創出し、森づくりから人づくりまで総合的に取り組みます。

水産業分野においては、漁業者の所得向上と担い手の育成・確保を図るため、関係機関・漁業者と連携し、萩の魚の付加価値の向上、効果的な栽培漁業等を推進することで、魚価の向上、漁獲量の確保、需要拡大等を図り、持続可能な水産業の実現に取り組みます。

## ◆主要事業の概要

### ■＜新規＞農地管理省力化推進事業（300万円）

（担当課：農政課）

土地利用型農業において作業負担や労働時間に占める割合が高い草刈り作業を省力化し、発生する余剰労力の活用による収益力向上を図るため、ほ場法面に敷設する防草シートの設置に必要な経費を支援します。

事業内容：防草シート設置への補助

補助額：補助対象経費の1/2以内（補助限度額 150円/m<sup>2</sup>）

〔財源内訳〕 合併特例基金繰入金 300万円

### ■次世代農業・畜産経営拡大支援事業（1,000万円）

（担当課：農政課）

地域の担い手となる個人経営体等が農地集積や規模拡大によって経営発展を目指す取組及び認定農業者である畜産農家が牛及び豚の増頭による経営規模拡大への取組に、必要な機械・施設の導入経費等を支援します。

事業内容：機械・施設等整備支援

補助額：補助対象経費の1/3以内（補助限度額 333万3千円）

〔財源内訳〕 合併特例基金繰入金 990万円、一般財源 10万円

### ■特定地域づくり事業協同組合運営支援事業（767万4千円）

（担当課：農政課）

担い手や後継者が不足している農林水産業や製造業等の事業者に対し、労働者を派遣することを目的とした、「はぎ地域づくり協同組合」の運営に必要な経費を支援します。

〔財源内訳〕 農林水産業費国庫補助金 383万7千円、一般財源 383万7千円

## ■＜新規＞里山私有林保全事業（500万円）

（担当課：林政課）

景観や生活環境の保全など適切な森林管理を促進するため、公共性の高い場所での樹木の伐採等を支援します。

事業内容：公道や公共施設等に支障を来している枯損木や支障木除去等の作業経費を補助

補助額：補助対象経費の2／3以内（補助限度額 50万円）

[財源内訳] 一般財源（森林環境譲与税） 500万円

## ■森・職・人づくり事業（4,319万5千円）

（担当課：林政課）

森林の適正な経営管理や林業の生産性の向上を図るため、森林所有者の意向を踏まえた森林団地の形成や団地内の森林整備、林業従事者確保対策等を支援します。

事業主体：市内に本店を有する林業経営体

事業内容：森づくり支援 森林所有者の意向調査、団地内の森林整備・作業道設置に係る費用の補助

職づくり支援 林業用機械の導入、経営改善に係る費用の補助

人づくり支援 雇用促進、人材育成に係る費用の補助

[財源内訳] 森林環境整備基金繰入金 1,216万9千円  
一般財源（森林環境譲与税） 3,102万6千円

## ■森と暮らしのつながり創造事業（1,378万1千円）

（担当課：林政課）

地域産木材の利用拡大や普及啓発を図るため、森林に親しみ学ぶ機会の提供や、住宅建築及び薪ストーブの整備を支援します。

事業内容：森と暮らしのつながり創造事業委託  
学校と連携した林業体験プログラムの企画・運営  
森林と暮らしの関わりについて学ぶ講座の企画・運営  
＜新規＞市有林を活用した森林イベントの企画・運営

地域産木材活用促進事業補助金  
住宅建築等における地域産木材の使用に係る補助  
補助額：建築主 3万5千円/㎡（補助限度額70万円/棟）  
建築事業者 5万円/棟

＜新規＞薪ストーブ整備費補助金  
薪ストーブの購入・設置に係る経費の補助  
補助額：補助対象経費の1/2以内（補助限度額50万円）

〔財源内訳〕 一般財源（森林環境譲与税） 1,378万1千円

## ■水産物魚価向上対策支援事業（299万4千円）

（担当課：水産課）

漁業者などと連携し、活魚出荷及び鮮度保持処理（活締め等）出荷の技術取得と流通体制の構築などの支援を行い、魚価の向上・高値安定を図るとともに、萩の魚のブランド化を更に進めるための戦略の策定等を行います。

〔財源内訳〕 雑入 199万6千円、一般財源 99万8千円

## ■林道橋長寿命化対策事業（2,170万4千円）

（担当課：農林水産整備課）

林道橋の長寿命化を図るため、予防保全に向けた補修工事を計画的に実施します。

### 【林道福萩線 小鶴橋】

事業期間：令和4～6年度

総事業費：3,733万4千円

事業内容：補修工事 延長25m

[財源内訳] 農林水産業費県補助金 1,284万円、市債 790万円  
一般財源 96万4千円

## ■水産基盤ストックマネジメント事業（4,595万2千円）

（担当課：農林水産整備課）

漁港施設の老朽化が進行し、改良・更新すべき時期を迎えた施設について、今後も漁業活動に必要不可欠な施設の機能の維持・継続を図るため、効果的・効率的な維持管理・更新等により施設の長寿命化や更新コストの縮減を図ります。

事業内容：玉江漁港機能保全工事（導流堤補修）  
大島漁港機能保全工事（道路補修、物揚場補修）

[財源内訳] 農林水産業費県補助金 2,000万円、市債 2,590万円  
一般財源 5万2千円

## ＜商工観光部予算の概要＞

### ◆予算編成の考え方

長引くコロナ禍や原油価格・物価高騰による影響、また、人口減少や高齢化に伴う事業規模の縮小、後継者不足など、萩市の経済を支えている中小企業者を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。

こうした状況にあって、中小企業者の活性化に向けた取組や、生産性の向上に向けたデジタル化の推進、事業承継等の課題への対応など、支援の充実を図るほか、萩焼等の地場産業における経済活動の活性化を図ります。また、移住・定住の促進を図るため、求職者への情報発信機能を充実することで、企業のマッチング支援による雇用確保の充実を図るとともに、新たな起業・創業への支援、さらに都市部から萩市への移住者に対する支援を行うことにより、移住創業・就業を促進します。

道の駅「萩・さんさん三見」のリニューアルでは、地元特産品の販売機会の拡大や情報コーナーの充実に加え、地域の方の生活拠点としても親しまれる魅力ある道の駅づくりに取り組みます。

また、「市民の暮らしを支える利用しやすい交通ネットワーク」を実現するため、令和4年度に運行ルートを改定した萩循環まあるバスの利用促進や、地域巡回ぐるっとバスのデマンド化、地域コミュニティによる移動支援の推進など、誰もが自宅から目的地まで移動ができるよう交通手段の確保に努めます。

企業誘致に関しては、新たな時代に対応した若者の就業の場を創出するため、テレワークといった新たな働き方による人材の採用・定着を目指している企業と、萩市でテレワークを希望する求職者のマッチングを行い、萩市への定住の促進を図ります。また、IT企業などのサテライトオフィスの誘致を促進するとともに、IT企業や行政、教育機関、経済団体等で構成する「萩グローバルIT人材育成協議会」を中心としたIT人材の育成・確保への取組を進めます。

観光面では、歴史やまちなみ、四季折々の花、豊富な食材など、萩ならではの観光資源を効果的に活用するとともに、長州ファイブ英国渡航160年、桂太郎没後110年などの周年事業を展開し、行政、観光事業者、地域が一体となり、切れ目のない観光キャンペーンを展開します。

また、令和6年度の「萩まちじゅう博物館」設立20周年を契機に、これまで発見・発掘した“おたから”を市民や事業者が自ら活用し、地域づくりや観光地づくりにつなげるために開催される、「萩まちじゅう博覧会」を支援します。

加えて、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の5つの構成資産の確実な保存と理解増進に取り組むとともに、歴史的まちなみや史跡・天然記念物など、先達から受け継いだ萩の“おたから”を保存・継承し、文化財施設の活用に一層努めます。

このような取組を一層強化するため、萩・明倫学舎3号館の1階に、萩市観光課、萩市観光協会及び萩温泉旅館協同組合の事務所を集約し、これを契機に、観光団体の連携を一層密にすることで、まさに三本の矢のごとく、三位一体となって、萩市の観光振興を強力に推進します。

また、本館から4号館まで全館開館した萩・明倫学舎は、観光の拠点及び産業振興・人材育成・交流・文化振興の場としての機能強化を図り、市全域の賑わいの創出につながるよう、行政、事業者が一体となって取り組みます。

## ◆主要事業の概要

### ■シルバー人材センター事務所整備事業（5,455万円）

（担当課：商工振興課）

萩広域シルバー人材センターの事務所施設の老朽化等に伴う移転新築工事に当たって、旧椿東保育園の解体工事を行うとともに、建物建設費の一部を補助します。

事業内容：旧椿東保育園解体工事（令和4～5年度）

＜新規＞シルバー人材センター事務所整備費補助金

事業期間：令和5～6年度

総事業費：1億230万円

補助金額：2,500万円（うち萩市補助金2,500万円）

（令和5年度1,000万円、6年度1,500万円）

事業主体：萩広域シルバー人材センター

負担割合：1／4

〔財源内訳〕市債 1,000万円、一般財源 4,455万円

### ■＜新規＞萩焼魅力発信事業（190万円）

（担当課：商工振興課）

伝統工芸品である「萩焼」の認知度向上と需要開拓を目的とした都市圏での展示やインフルエンサーによるWEBメディアやSNS等を活用したプロモーション活動を行います。

総事業費：793万6千円

事業主体：萩陶芸家協会（うち萩市補助金190万円）

〔財源内訳〕一般財源 190万円



## ■＜新規＞萩暮らしnet. 改修事業（449万5千円）

（担当課：商工振興課）

市内企業への就職を促進するためのポータルサイト「萩暮らしnet.」を改修し、求職者・企業間のマッチング機能を中心とした萩市の仕事の情報とともに、市内企業の紹介、萩市の就業支援の紹介などを行うサイトとして構築します。

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 200万4千円、一般財源 249万1千円

## ■道の駅「萩・さんさん三見」リニューアル事業（9,891万9千円）

（担当課：商工振興課）

道の駅「萩・さんさん三見」の店舗や情報コーナーの拡充とともに、中山間地域の新たな道の駅として、生活拠点化を図るため、増改築工事を行います。

事業期間：令和4～5年度

総事業費：1億103万1千円

事業内容：設備監理業務委託、増改築工事、施設用器具購入

〔財源内訳〕 合併特例基金繰入金 250万円  
あなたのふるさと萩応援基金繰入金 30万円、市債 9,580万円  
一般財源 31万9千円

## ■＜新規＞萩テレワークライフマッチング事業（550万円）

（担当課：企業誘致推進課）

テレワーク（在宅勤務・サテライトオフィス勤務）といった新たな働き方による人材の採用・定着を目指している企業と、萩市でテレワークを希望する求職者のマッチングを行い、移住定住の促進を図ります。

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 275万円、一般財源 275万円

## ■香雪園整備事業（634万1千円）

（担当課：観光課）

昨年10月にリニューアルオープンした、藤田伝三郎のゆかりの地である「香雪園」の利便性の向上を図るため、引き続き整備します。

事業内容：緑地整備工事（藤棚設置）  
施設用器具購入（休憩用ベンチほか）

〔財源内訳〕 あなたのふるさと萩応援基金繰入金 30万円、市債 600万円  
一般財源 4万1千円

## ■史跡大板山たたら製鉄遺跡保存整備事業（2,028万5千円）

（担当課：文化財保護課）

平成28・29年度に策定した「世界文化遺産修復・公開活用計画」に基づき、遺構等の確実な保全と史跡の理解増進を図る整備を進めていきます。

令和5年度は、年々深刻化する史跡内での獣による掘削被害に対処するため、獣害防止柵の整備を行います。

事業期間：令和4～11年度（予定）

事業内容：整備委員会の開催  
獣害防止柵設置工事

〔財源内訳〕 教育費国庫補助金 1,014万2千円、一般財源 1,014万3千円

## ■萩市文化財保存活用地域計画策定事業（376万8千円）

（担当課：文化財保護課）

地域の歴史や文化財を総合的・一体的に保存・活用することにより、地域の特徴をいかした地域振興及び確実な文化財の継承等につなげるため、住民、民間団体、有識者などで構成する協議会を設置し、萩市文化財保存活用地域計画を策定します。

事業期間：令和4～5年度

〔財源内訳〕 教育費国庫補助金 188万4千円、一般財源 188万4千円

## ■＜新規＞萩まちじゅう博覧会開催事業（400万円）

（担当課：まちじゅう博物館推進課）

令和6年度の「萩まちじゅう博物館」設立20周年を契機に、これまで発見・発掘した地域の“おたから”を、市民や事業者が自ら活用することを目的に、萩市全体を会場として開催される博覧会を支援します。

令和5年度は、次年度に向けた体制づくりや情報発信、PRを兼ねたプレ博覧会の開催を支援します。

事業主体：萩まちじゅう博覧会実行委員会（仮称）

事業内容：博覧会ホームページやパンフレット作成  
プレ博覧会のコンテンツ（展示・体験・食・宿泊を来訪者へ提供する地域ツアーや体験プログラムなど）を実施する団体・事業者への補助

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 200万円、一般財源 200万円

## ■萩博物館特別展等開催事業（2,541万7千円）

（担当課：萩博物館）

コロナ禍などにおける社会情勢に適切に対応した集客体制の確立と、市内各所への誘客を意識した展示・関連イベントを開催します。

事業内容：特別展「萩・古生物展」

開催期間 令和5年7月8日（土）～9月18日（月・祝）

特別展「長門峡—峡谷の美景—」

開催期間 令和5年10月7日（土）～12月3日（日）

企画展「クジラに生かされてきた萩・山口の人々」

開催期間 令和5年12月23日（土）～令和6年3月3日（日）

企画展「再発見・萩の『まち』」

開催期間 令和6年3月16日（土）～6月23日（日）

〔財源内訳〕 一般財源 2,541万7千円

## ＜土木建築部予算の概要＞

### ◆予算編成の考え方

土木建築部では、萩市基本ビジョンに掲げる「生活基盤の充実した住みよいまちづくり」の目標に向けた取組を進めていきます。

産業・観光振興など地域経済の発展に大きく寄与する「山陰道（益田～萩間）」と「地域高規格道路小郡萩道路」の早期整備に向けた要望活動や山陰道「大井・萩道路」の萩東IC（仮称）からのアクセス道路の整備に取り組みます。また、道路については、維持を含む道路インフラの中長期的計画により安全・安心な対策に取り組みます。

河川については、河川浚渫や護岸改修を地域の実情に応じて計画的に実施することにより、近年多発する災害の未然防止や減災に努めます。

市営住宅については、地域の特性に応じた安心して暮らせる住環境を提供するため、計画的に長寿命化を図る改修を行うとともに、適正な維持管理に努めます。

空家等対策については、所有者等への適正な管理及び活用を促進するとともに、老朽化した空き家には除却に対する支援を行うなど、住みよい生活環境の保全と安全・安心なまちづくりを推進します。

地籍調査については、災害復旧の迅速化や社会資本整備の円滑な事業促進に寄与するとともに、市民の大切な財産を永続的に保全し、次の世代へ正確な地籍情報を提供するためにも着実に推進します。

都市計画については、都市計画マスタープランや立地適正化計画、都市計画現況調査等を踏まえ、目指すべき都市づくりの将来像を実現するため、用途地域等の見直しを行い、適切な土地利用の誘導を図ります。

また、市全域を対象とした良好な景観形成については、萩市の貴重な歴史的、自然的景観の保全と賑わいの創出を両輪とした景観形成を推進するため、景観計画や屋外広告物等関係条例に基づく指導を実施します。

## ◆主要事業の概要

### ■＜新規＞万才園線道路整備事業（2,100万円）

（担当課：土木課）

観光客や市民の利便性の向上を図るため、萩城跡内にある道路の未舗装部分を整備します。

事業期間：令和5年度

総事業費：2,100万円

事業内容：設計業務委託、舗装工事 延長 315m 道幅 4.5m

[財源内訳] 土木費国庫補助金 1,144万5千円、市債 950万円  
一般財源 5万5千円

### ■山陰道アクセス道路整備事業（3,000万円）

（担当課：土木課）

山陰道「大井・萩道路」の萩東インターチェンジ（仮称）から中心市街地や観光地への利便性の向上を図るため、アクセス道路を整備します。

事業期間：令和3年度～

総事業費：24億2,645万3千円

全体計画：延長 1,210m 道幅 15.0m

事業内容：用地測量業務委託

[財源内訳] 土木費国庫補助金 1,635万円、市債 1,360万円、一般財源 5万円

## ■羽賀線道路整備事業（3,000万円）

（担当課：土木課）

国道191号（越ヶ浜～大井）における越波や交通事故等による交通規制が発生した際の緊急的な迂回路として、また、地域間（大井羽賀～福栄吉田）の交流促進と利便性の向上を図るため、道路を整備します。

事業期間：平成17～令和7年度

総事業費：5億3,915万4千円

全体計画：延長 1,600m 道幅 5.0～6.5m

事業内容：道路改良工事 延長 100m

[財源内訳] 土木費国庫補助金 1,635万円、市債 1,360万円、一般財源 5万円

## ■神畑線道路整備事業（5,006万4千円）

（担当課：土木課）

見島地区住民や観光客の利便性の向上を図るため、見島宇津地区と観光スポットの北灯台にアクセスする道路を整備します。

事業期間：平成28年度～

総事業費：2億9,017万5千円

全体計画：延長 1,000m 道幅 4.0m

事業内容：道路改良工事 延長 200m

[財源内訳] 市債 5,000万円、一般財源 6万4千円

## ■橋りょう補修事業（7,885万1千円）

（担当課：土木課）

交通の安全を確保するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修します。

### 【赤坂橋】萩地域

事業期間：令和2～5年度

総事業費：1億1,262万9千円

全体計画：延長 10.8m

事業内容：橋りょう更新工事 延長 10.8m

### 【松本大橋歩道橋】萩地域

事業期間：令和2～6年度

総事業費：9,425万2千円

全体計画：延長 65.8m

事業内容：橋りょう補修工事 延長 23.0m

[財源内訳] 土木費国庫補助金 4,088万5千円、市債 3,520万円  
一般財源 276万6千円

## ■老朽危険空き家対策事業（1,154万9千円）

（担当課：建築課）

所有者等への適正な管理及び活用を促進するとともに、老朽化した空き家の除却に対する支援を行うなど、住み良い生活環境の保全と安全安心なまちづくりを推進します。

事業内容：老朽危険空き家の所有者等への助言及び指導

老朽危険空き家の所有者等の調査

老朽危険空き家の解体（行政代執行）

老朽危険空き家除却促進事業補助金

老朽化して危険な空き家の除却を推進するため、市内の建設業者等を利用して解体工事等を行う場合に、必要な経費の一部を支援します。

補助額 補助対象経費の2/3以内（補助限度額 100万円）

[財源内訳] 土木費負担金 135万6千円、土木費国庫補助金 508万7千円  
一般財源 510万6千円

## ■住宅改修資金助成事業（700万円）

（担当課：建築課）

市内の施工業者を利用して、住宅のリフォームを行う場合にその経費の一部を支援することで、地場産業の活性化及び空き家の有効活用を図ります。

事業内容：工事費用が10万円以上の場合、経費の10%を補助（上限額10万円）  
※子育て世帯、三世帯同居・近居又は空き家を取得しリフォームを行う場合、補助率は最大30%まで引き上げ（上限額50万円）

〔財源内訳〕 あなたのふるさと萩応援基金繰入金 700万円

## ■＜新規＞都市計画用途地域変更事業（690万円）

（担当課：都市政策課）

土地利用の現況や将来の土地利用の方向性を踏まえ、都市計画用途地域の見直しを行います。

事業期間：令和5～6年度

総事業費：1,366万2千円

対象区域：都市計画区域

〔財源内訳〕 一般財源 690万円



## ＜教育委員会事務局予算の概要＞

### ◆予算編成の考え方

「萩市ひとづくり構想」の基本理念である、「新しい時代を切り拓くひとづくり」を実現するため、創造（広い視野を持ち、新たな視点から考える人）、挑戦（現状に甘んじることなく、未来に向かって果敢に挑む人）、協働（人との関わりを大切にし、社会のために共に行動する人）を目指すひとの姿として、学校教育、社会教育、文化・芸術、スポーツの各分野において施策を展開します。

学校教育においては、義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進する中で、地域の特色を生かした学校・地域連携カリキュラムを基に、一人ひとりが将来に向け、志を立てていく志教育を一層推進します。

社会教育、文化・芸術、スポーツの各分野においては、市民が新たな物事にチャレンジするきっかけとなるよう、引き続き「未来を切り拓くひとづくりセミナー」の開催やアスリートの合宿誘致に伴う中高生等への指導、スポーツ指導者の育成などにより、各分野で活躍している方に触れる機会を創出します。

少子化対策の一つとして、令和5年度から、市内中学校へ通学する生徒だけでなく、市内小学校へ通学する児童の給食費も助成します。また、萩市に定住の意思がある若者の教育の裾野を広げるため、貸与型奨学金の返還支援を行います。

### ◆主要事業の概要

#### ■奨学金返還支援事業（113万3千円）

（担当課：教育政策課）

大学等の高等専門教育への進学支援と萩市への若者の定住の促進を図るため、令和4年度以降に大学・高校等を卒業し、萩市に定住される方を対象に、奨学金の返還額の一部を補助します。

対象者：事前登録後に大学・高校等を卒業し、萩市に定住する方

補助額：返還した奨学金の1/2相当額（年額上限8万9千円）※最長5年間

[財源内訳] 一般財源 113万3千円

## ■＜拡充＞子育て世帯応援学校給食費助成事業（1億726万2千円）

（担当課：学校教育課）

子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て環境の充実を図るため、市内に住所を有し、市内の小中学校に通う児童生徒の学校給食費を助成します。

令和4年度に開始した中学校の生徒に加え、令和5年度からは、小学校に通う児童へ対象を拡充します。

〔財源内訳〕 学校給食基金繰入金 6,187万5千円、一般財源 4,538万7千円

## ■がんばろう菽！学校給食用食材価格高騰対策事業（1,552万8千円）

（担当課：学校教育課）

コロナ禍における原油価格・物価高騰等の影響により、食材価格が高騰していることから、保護者に学校給食費の増額負担を求めることなく、これまでと同様に栄養バランスや地産地消に配慮した給食の提供を行うため、市立小中学校に対して、食材価格の高騰相当分を令和4年度に引き続き支援します。

事業内容：食材価格の上昇を見込んだ率（学期ごと）を基に積算した額を市立小中学校に対して補助

〔財源内訳〕 一般財源 1,552万8千円

## ■校務支援システム導入事業（327万6千円）

（担当課：学校教育課）

児童生徒の学籍情報や成績・健康状態等を管理し、校務における教職員の業務の負担軽減を図るため、校務支援システムを県内市町が共同で導入し、令和6年1月に運用を開始します。

〔財源内訳〕 一般財源 327万6千円

## ■＜新規＞「宝くじおしゃべり音楽館」開催事業（212万円）

（担当課：文化・生涯学習課）

市民の元気と活力を創出するとともに、市民の文化振興の向上を目的に、一般財団法人自治総合センターの宝くじ文化公演事業を活用し、「宝くじおしゃべり音楽館」を開催します。

開催予定日：令和6年1月21日（日）

開催場所：萩市民館 大ホール

内 容：オーケストラ、歌手、ピアニスト等による映画で使用されたテーマ曲、挿入曲、クラシックの名曲の披露及び地元出演者との共演

〔財源内訳〕 雑入 212万円

## ■＜新規＞スポーツ指導者等地域人材育成事業（400万4千円）

（担当課：スポーツ振興課）

スポーツ指導者の育成と競技力の向上を図るため、スポーツ界トップクラスの団体と連携し、スポーツ指導者育成カリキュラムに基づく研修会の実施やトップアスリートによるスポーツ教室等を行います。

事業内容：スポーツ指導者等地域人材育成業務委託

〔財源内訳〕 教育費国庫補助金 200万2千円、一般財源 200万2千円

## ＜消防本部予算の概要＞

### ◆予算編成の考え方

全国各地で大規模な災害が毎年のように発生しており、今後も地球温暖化に伴う異常気象による集中豪雨や南海トラフ地震など、より大規模な自然災害の発生が懸念されています。また、人口減少や高齢化の進展による人口構造や社会環境の変化は今後も消防需要に大きく影響すると予想される一方で、消防団員の減少などの地域防災力の低下が懸念されています。さらに、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じ、救急や消火をはじめとした必要な業務を継続できる体制の確保が必要とされています。

こうした中、市民の安全・安心の確保は、本市における消防防災行政の基本的な責務であるとともに、地域社会活性化への重要な課題でもあります。このような観点から、引き続きあらゆる災害等に対して揺るぎない体制を整え、ふるさとの住みよい社会環境を維持していくことが必要です。

このため、将来にわたって持続可能な体制の整備が必要であり、消防業務の核となる消防通信指令業務を他市と共同運用し、専門性の高い通信指令体制を整備・確立することで、複雑多様化する災害に備えるとともに経費の削減を図ります。

また、水利不便地区に防火水槽を整備し防火体制を強化します。

さらに、災害発生時において被害情報把握や情報収集を迅速かつ効率的に行うため、ドローンを整備するとともにオペレーターを養成し、情報収集活動の強化を図ります。

近年地域社会と密着した消防団活動の重要性が再認識されており、本市においても消防団を中核とした地域防災力の充実強化を推進しています。消防団車両の更新、高視認性雨衣の整備など施設・装備の充実を図るとともに、女性や学生など幅広い年齢層への消防団入団への呼びかけや、消防団協力事業所制度の啓発と認定事業所の拡充などに取り組みます。これらを通じて、地域住民と密着した消防団活動がより有効に機能し、消防本部及び消防署並びに消防団が一体となり、あらゆる災害に的確に対応する消防体制を確立し、市民の皆様が今以上に安全・安心に暮らせるよう「生活基盤の充実した住みよいまちづくり」を目指します。

## ◆主要事業の概要

### ■消防指令センター共同整備事業（3億9,235万3千円）

（担当課：消防総務課）

本市、山口市及び防府市において消防通信指令業務を共同運用し、専門性の高い指令業務を専従化することで、複雑多様化する災害に備えた地域防災力の強化を図るとともに、通信指令設備整備及び維持管理に係る経費の削減を図ります。

事業期間：令和3～7年度

総事業費：46億5,033万円（うち萩市負担分13億1,636万円）

事業内容：システム調達支援業務委託（令和3～4年度）  
システム構築監理業務委託（令和5～7年度）  
システム設置工事（令和5～7年度）

[財源内訳] 消費費負担金 6,316万8千円、市債 3億2,910万円  
一般財源 8万5千円

### ■＜新規＞消防器庫整備事業（4,196万8千円）

（担当課：消防総務課）

明木中学校跡地活用に伴い、同跡地に併設する明木第3分団消防器庫を移転整備します。

事業内容：測量設計業務委託  
設備設計監理業務委託  
消防器庫整備工事  
用地購入

[財源内訳] 市債 4,190万円、一般財源 6万8千円

## ■＜新規＞ドローン整備事業（248万8千円）

（担当課：消防総務課）

災害発生時における被害状況把握や情報収集を、上空から迅速かつ効率的に行うため、情報収集活動用のドローンを整備するとともに、ドローンのオペレーターを養成します。

事業内容：ドローン購入 一式  
オペレーターライセンス取得 6人

〔財源内訳〕 消防費負担金 40万円、市債 120万円、一般財源 88万8千円

## ■防火水槽整備事業（2,600万円）

（担当課：消防総務課）

消防水利の乏しい地域に防火水槽を設置し、防火体制の強化を図ります。

事業期間：令和4～5年度

設置箇所：惣ノ瀬地区（川上）、小川2区（田万川）

事業内容：防火水槽設置工事

〔財源内訳〕 消防費国庫補助金 548万6千円、市債 2,040万円  
一般財源 11万4千円